

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

平成20年 6月16日

【評価実[評価実施概要]

| | |
|---------------|--|
| 事業所番号 | 2170400499 |
| 法人名 | 有限会社 夢家族 |
| 事業所名 | グループホーム 夢家族・三ツ柳 |
| 所在地 (電話番号) | 〒501-6226 岐阜県羽島市正木町三ツ柳字二丁目184番地 (電話) 058-393-3796 |
| 評価機関名 | NPO法人 んご住民福祉研究会 |
| 所在地 | 岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1 はしま福祉サポートセンター内 |
| 訪問調査日 | 平成20年5月17日 |

【情報提供票より】(20年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------------|--------|---------------------------|
| 開設年月日 | 平成 14 年 10 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 16 人 | 常勤 | 16 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 4.2 人 |

(2) 建物 (2)建物概要

| | | |
|------|------------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨スレート葺き造り | |
| | 1 階建ての | 1 階部分 |

(3) 利用 (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------|----------------|---------|-------|
| 家賃(平均月額) | 36,000 円 | その他の経費(月額) | 6,000 円 | |
| 敷金 | 有(円) | (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 250 円 |
| | 夕食 | 450 円 | おやつ | 150 円 |
| | または1日当たり 1,050円 | | | |

(4) 利用 (4)利用者の概要(5月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 15 名 |
| 要介護1 | 4 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 7 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 名 | | 要支援2 | 名 | |
| 年齢 | 平均 81.5 歳 | 最低 | 60 歳 | 最高 | 98 歳 |

(5) 協力 (5)協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------|
| 協力医療機関名 | いわたクリニック タカダ歯科 松波総合病院 |
|---------|-----------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

岐阜県と愛知県の県境に位置したのどかな田園風景の中のホームである。理念である「安心感」に基づき、職員が一丸となって「ホームは家族」をモットーに利用者一人ひとりの生活の質の向上に努めている。同系列のホームがちょうどいい散歩コースの距離にあり、お茶やお菓子をいただく等の交流も図られている。自治会、敬老会への参加はもとより、地域の方々にも音楽療法などに参加していただき喜ばれている。また最近では運営推進会議の委員を巻き込んでの防災訓練を行うなどの取り組みにより、ホームへのより一層の理解を得ている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善点は3点あったが、毎月1回職員会議が全員出席で行われ、運営に対する意見やケアプランに対する検討、運営の浸透が行われている。運営推進会議は情報の提供を行い、サービスの向上に活かされている。市町村との連携、食事を楽しむことの支援については、更なる検討を継続している。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、各ユニットで現状をありのままに受け入れることから始めた。その為サービスの視点に添って、利用者の特徴を考えながら、全職員で積極的に取り組んだ。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、利用者の状況やグループホームの情報提供を行い、サービスの向上に努めている。このメンバーで避難訓練や音楽療法等行うようにしている。内容は記録に残され職員会議等でも検討され活かされている。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>苦情相談窓口は管理者で、意見箱もあった。また、外部の相談員は民生委員となっている。月一回 家族との連絡も取られ、個々の意見を聞きホームの運営に反映されるよう努力している。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者の日常生活における方針は、地域住民の一人として暮らせるよう利用者の希望や能力に合わせて支援されている。クリスマス会やイベントでは、多くの地域の人との交流がある。村祭りや水路の掃除等地域の一人としての活動にも参加し地元の人々との交流に努めている。</p> |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人の理念としては、「安心感」を掲げ、認知症であっても、一人ひとりが地域の中で、その人らしく暮らし続けていくサービスとして事業所独自のケア理念を述べている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は、理念に対する考えを共有し、日常サービスの中で実践している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 事業所は、自治会や老人会に参加する努力をしている。クリスマス会やイベントには、町内の多くの人に参加している。村祭りや水路の掃除等、地元の人々との交流を深めている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は各ユニットごとに評価し、具体的な改善目標を掲げ、評価に対する理解を深めている。また、具体的な改善に取り組んでいる。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では利用者の状況やサービスの情報提供を行い、参加メンバーからの意見や要望などを参考にして、サービスの質の向上に活かしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|----|---|---|------|--|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | 福祉課が生活保護を受けている利用者に定期的訪問があるが、運営推進会議以外の連絡や相談、話し合い、行き来の出来る関係はない。 | ○ | グループホームの設置権、監督権等の全てが、市町村に移譲された事もあり、更なるサービスの向上のために、より一層関係分野への相談や連携への取り組みを希望したい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | 月に1回 生活の便りを郵送し、個々の家族への連絡を行っている。健康状態や日常の暮らしぶりの写真も送っている。 金銭の報告は本部から行っている。 | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | 苦情相談窓口は管理者で意見箱もあった。家族の意見を運営に反映させるようにしている。第三者委員(民生委員)の選任もなされている。 | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | 管理者は職員の離職は、信頼関係が出来ている利用者にとってダメージが大きい事を認識し、職員の相談にのるなど 馴染みの職員によるケアに努めている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 事業所内外の研修を受ける機会をもうけ、知識や技術の習得が出来る様努力している。 | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | 関連事業所などとの交流を図り、意見の交換がなされ、サービスの質の向上に努めている。また、より一層のネットワークの充実や、活動を通じてのサービスの質の向上が期待される。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 希望があれば、家族、本人に見学に来ていただき他の利用者に紹介するなどしている。持ち込み品も危険な物以外は、利用者や家族の希望を聞き、馴染めるよう工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 生活歴や生い立ち等、考慮しつつ、普通の暮らしの中に、利用者と職員が支えあう関係作りに重点を置いている。職員もよく理解し実践している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 介護計画の立案や見直し時は、利用者や家族の意向を記録し検討している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護計画は、利用者が出来ること、興味のあることなど、一人ひとりにあった計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 期間にとらわれず、変化に応じて本人、家族、関係者と話し合いながら検討と見直しを行なっている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| に | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者やご家族の状況に応じて通院、入退院の送迎はもとより、お墓参りなどの個々の希望にも柔軟に対応している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 事業所のかかりつけ医の他、利用者やご家族が希望される医療機関の医療が受けられるよう支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化に伴う意志確認は、利用者、ご家族の意思をその都度確認しながら医療機関と相談して対応し、方針の共有を図っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人ひとりに対し常に尊敬の念をもって接するようミーティングを利用して職員全員で話し合い、徹底している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホームの日課表はあるが、一人ひとりの体調ペースに合わせた支援が行なわれている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|--|
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 農園で栽培されている野菜を利用しての食事づくりや一人ひとりの好みに対しても工夫がなされている。バーベキュー、バイクの時は職員も食事を一緒にとっているが、普段は食事する機会が少ない。 | ○ | 介助する側一方だけになってしまわず、一緒に食事を味わいながら、利用者にとってより食事が楽しいものになるような取り組みが望まれる。 |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日は決めているがその日の体調に合わせて対応している。入浴を拒む利用者に対しては言葉かけ、タイミングなど工夫し、一人ひとりに合わせた入浴支援をしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 折り紙、工作を通して、他のグループホームの方と交流するなどそれぞれの得意分野で楽しめる支援をしている。また、作品の公民館への出品も検討中である。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 一人ひとりの体調や希望に応じてホームの周りをゆっくり散歩したり、敷地内で外気浴したりしている。時々近くの喫茶店などにも出かけている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 鍵をかけて欲しいというご家族の意見もあるが、職員が見守りを徹底することで理解していただき、日中は鍵をかけていない。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 運営推進会議の日に避難訓練を計画し、推進委員のメンバーを巻きこんで訓練をするなどの試みをしている。また、消防署の上級救命講習を受けるなど職員もレベルアップを計っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養や水分をバランスよく摂取できるよう、一人ひとりの利用者に合わせた支援をしている。また記録表にも記入している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間、台所はワンルームになっており、明るく風通しがよく、利用者の快適な空間となっている。食事を用意する音など五感を刺激する心地よさがあり、季節を感じる工夫もなされている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | それぞれの居室には、利用者が使っていた馴染みのものが持ち込まれ個性的なものになっている。全ての部屋に空気清浄機が設置され居心地よく過ごせるよう配慮されている。 | | |